

東洋大学校友会
新潟県支部会報
第34号

平成30年 8月26日発行

南水

発行
東洋大学校友会新潟県支部
発行者 斎藤 淳
発行所 〒959-1811
五泉市三本木3-1-6
TEL 0250-43-1289
印刷・製本 株式会社 本間印刷所

川越キャンパスは今



東京ドーム6個分の広大な敷地に最先端の研究施設がそろった川越キャンパス。
陸上競技場や各種グラウンドを備え、「7号館」には、スタジオ、ミニシアター、物創り工房、
実験室などが完備されています。豊かな自然と最新の施設が充実した4年間をバックアップします。
東洋大学ホームページより



●●● 巻頭言 あいさつ ●●●

支部長 斎藤 淳
S53年法学部法律学科卒

東洋大学校友会新潟県支部の皆様には、ご清祥のこととお喜び申し上げます。
まずは、大相撲夏場所で見事な優勝を成し遂げた校友の御嶽海関にお祝いを申し上げます。9
月場所での大関への挑戦が実ることを期待しています。また、郷土出身の寺沢君の活躍も楽しみ
です。

さて、今年には学祖生誕160年、円了博士は、自ら興した私立哲学館を基礎に、東洋学の世界的
な拠点をめざし東洋大学を設立しました。戦前は文化系の単科大学でしたが、近年は大きく発展し、文系、理系、文理融
合の5学部13学科、3万2千人が学ぶ総合大学となりました。平成26年にはスーパーグローバル大学創成支援に認定さ
れ、注目度も一層高まっています。この春は、11万人の受験生を集め、日本大学を抜いて私立大学の5位にランクインし
ました。母校の成長と発展に勇気づけられる思いです。

円了博士の没後100年の節目を迎える来年、長岡で円了博士を顕彰する記念事業が企画されています。事業内容が定ま
ればあらためてご案内しますので、是非ご参加ください。

めざましい発展を遂げる我が母校で、その名をさらに高めているのがスポーツ選手の活躍ではないでしょうか。一人ひ
とり名前をあげることはしませんが、その活躍に心を躍らせています。そうした中、夏の風物詩として、陸上競技部の山
古志合宿が毎年開催され、最近では、大学野球のサマーリーグも三条を拠点に開催されています。県内在住の我々校友に
とっては、学生の活躍を目にする良い機会ではないでしょうか。校友の皆様には、毎年ご支援をいただき感謝申し上げま
す。引き続きご協力をお願いします。また、学生の新潟でのスケジュールも随時お知らせします。是非とも、一緒
に学生の勇姿を見ようではありませんか。

私ごとですが、昨年秋に40年ぶりに学生時代の友人に再会を果たしました。卒業後は疎遠になっていましたが、SN
Sが縁をつないでくれました。これを機会にクラスの友人と再会し、今年は本格的なクラス会を企画しています。校友会
組織の弱体化が懸念されています。それぞれの校友が持つ、ひょっとすると眠っている校友との関係をつなぎ直すことで
校友会活動の活性化が図られるのではないのでしょうか。クラスやサークルなどの直接のつながりはもちろん、地域や職
域、趣味の世界で「東洋大卒」をカミングアウトすると意外と近くに仲間がいたりします。肩肘張らず東洋OBの立場を
楽しんでいきましょう。それが校友会活性化の近道ではないのでしょうか。これからの支部活動にご支援ご協力よろしくお
願い申し上げます。